

# 安全宣言

我が国の労働災害は労使強調による労働災害防止対策の努力によって、長期的には減少し、平成二十八年の死亡労働災害は二年連続で千人を下回った。

しかしながら、休業四日以上「死傷災害」は前年より増加した。これらの要因としては、基本的な安全管理の取り組みが労働者に徹底されていないことや、小売業・社会福祉施設・飲食店などの第三次産業では、多店舗展開企業などの傘下にある店舗などに安全担当者がおらず、安全活動が低調になっていることが考えられる。

宮崎県内においては、平成二十八年の労働災害による死者数は前年比一人増の十五人で、休業四日以上死傷者数は前年比四十七人増の千三百三十二人であった。本年は労働災害による死者数は前年比四人増の十人、休業四日以上死傷者数は前年比三十七人減の四百八十人（六月末日現在）と重篤な労働災害の増加が懸念される。

わが佐土原地区安全衛生協議会においては、三十余年にわたる安全衛生活動で構築した当協議会としての安全文化を更に発展させていかなければならない。

本日の安全大会を契機に心を新たにし、

## 組織で進める安全管理 みんなで取り組む安全活動 未来へつなげよう安全文化

をスローガンに職場における安全衛生管理を一層向上させることに全力を尽くすことを誓う。

右、宣言する。

平成二十九年七月十四日

宮崎県佐土原地区安全衛生協議会